

2022年3月18日

障害福祉サービス事業者の皆様

枚方市障害福祉サービス事業者連絡会
会長 安田 雄太郎

2021年度 第4回 枚方市障害福祉サービス事業者連絡会の開催について

平素は、事業者連絡会の運営にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の要項で第4回連絡会を対面とオンライン（Zoom）の両方で開催いたします。

今回は、「精神医療の現状と長期の社会的入院について国の責任を考える」をテーマに、講演とシンポジウムを行います。

精神科病院で40年の社会的入院を強いられた当事者・伊藤時男さんが2020年9月、国を相手に訴訟を起こしました。社会的入院に対する国の責任を問う「精神医療国家賠償請求訴訟」です。これまで、社会的入院について、個々の精神科病院の責任を問う取り組みはありましたが、国の施策（不作為）を問う訴訟は初めてであり、関係者の間で注目されています。

枚方市では、枚方市自立支援協議会 精神障害者地域生活支援部会（精神部会）を中心に、行政・支援団体や医療機関が連携し、枚方市内の入院病棟をもつ精神科病院への訪問面接・地域移行・地域定着支援が2012年から取り組まれています。大阪府独自の「退院促進支援事業」を制度化し、地域移行等が取り組まれてきた経過があります。

他方で、個々の病院への働きかけや地域での支援だけでは限界もあり、地域移行を進め社会的入院を解消するためには、国の大胆な方向転換が求められていると考えます。

今回は、事業者連絡会と精神部会との共催企画として、精神医療国家賠償請求訴訟研究会事務局長の古屋さんをお招きし、講演を開催いたします。また、長期入院を経験した精神障害当事者の方を交えたシンポジウムも、できれば開催したいと考えております。（体調等で当事者が参加できない場合もあります）。

貴重な機会ですので、ぜひご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

1. 日 時 2022年4月13日（水） 午後2時から午後4時30分
2. 会 場 枚方市総合文化芸術センター別館（旧メセナひらかた会館） 6階 大会議室
3. 案 件
 - ・枚方市からの連絡事項他
 - ・報告：社会的入院・社会的隔離をこの国はいつまで続けるのか
話題提供者：古屋 龍太 氏（精神医療国家賠償請求訴訟研究会 事務局長
日本社会事業大学 教授）
 - ・シンポジウム：長期入院を経験された当事者を交えて（予定）

参加費：無料

<裏面もご覧ください>

※出席の場合は、4月6日（水）までに参加票をFAXで下記まで送信の上、当日も参加票を受付に提出してください。

※3月11日に開催を予定しておりましたので、2021年度第4回連絡会として開催いたします。

※新たに入会を希望される事業所は、以下のアドレスにメールを送信してください。入会届をPDFで添付し、返信しますので、PDFファイルが受信できるメールアドレスをご使用ください。

○○○○@△△△△

※緊急事態宣言等で会場が閉館になった場合は、オンラインのみで開催する可能性があります。その場合は、登録いただいているメールアドレスに変更のお知らせメールを送信いたします。

■連絡先（事務局） 枚方市大垣内町2丁目1-20
枚方市役所 福祉事務所 障害福祉担当 藪本・副島
電 話 072-841-1457（直通）
FAX 072-841-5123

◆プロフィール

古屋 龍太（ふるや りゅうた）氏

1982年和光大学人文学部人間関係学科卒業、同年より国立武蔵療養所、国立精神・神経センター病院（現・独立行政法人国立精神・神経医療研究センター）にソーシャルワーカー（PSW：医療社会事業専門員）として26年間勤務。外来相談、精神科デイ・ナイトケア、アルコール薬物依存病棟、急性期治療閉鎖病棟、慢性期閉鎖病棟、社会復帰病棟などを兼務する傍ら、厚生省精神障害者ケアガイドライン委員会、厚生労働省障害者相談支援従事者指導者研修検討委員会、地域での作業所・グループホーム作りなどに関与。

この間、東京都小平保健所・都立多摩総合精神保健福祉センター等で非常勤専門相談員を兼任、東京学芸大学教育学部人間科学類で非常勤講師を併任。日本精神保健福祉士協会常任理事、日本病院・地域精神医学会理事、日本デイケア学会理事、東京PSW協会会長等を歴任。2008年日本社会事業大学専門職大学院准教授。2015年より教授。

新型コロナウイルス感染症対策について

- ・マスクを着用してください。
- ・入室前後に手指の消毒をしてください。
- ・発熱、せき、下痢などの症状がある方は、参加を控えてください。
- ・参加者同士が直接接触する行動は控えてください。
- ・概ね1時間ごとに部屋の換気を行います。